

水道管の冬支度をお願いします

【問い合わせ】水道課業務担当
(☎282-1711 内線1156)

冬の冷え込みが厳しいときは、水道管が凍ったり破裂したりすることがあります。水道管が凍結すると、水が使えなくなるばかりでなく、修理代などの思わぬ出費がかさむことになります。事前に対策し、凍結を防止しましょう。

凍結を防ぐ4つのポイント 寒くなってきたなと思ったら、早めに対策をしましょう！

①水抜きをする

冷え込みが厳しい時は、必ず水抜栓の操作を行う。中途半端に回すと水漏れが続く仕組みのため、開け閉めの際は最後までしっかりと回す。

②水を流したままにする

水抜栓がない場合は、蛇口から水を少しだけ流したままにする。※流した分の水については料金がかかるため、出し過ぎに注意する。



③水道管を保温する

露出している水道管や蛇口は、市販の発泡スチロール製保温材(布類は水分を含んで余計に凍結するので使用しない)や電気式の凍結防止帯を巻き付ける。※保温材や凍結防止帯はホームセンター等で購入できる。

④メーターボックス内を保温する

メーターボックスの中に、水道メーターを保護するように保温材(発泡スチロールや布切れなどを、ぬれないようにビニール袋に入れたもの)を詰める。※小袋に分けておくと検針時に取り出しやすい。

水道管が凍結してしまったら…

軽い凍結のときは水道管や蛇口にタオルを巻き付けて、ゆっくりとぬるま湯を掛けてください。水道管や蛇口が破裂する恐れがありますので、**熱湯は絶対に掛けないでください**。ヘアドライヤー等でゆっくり溶かすのも有効です。



水道管が破裂してしまったら…

すぐにメーターボックス内のバルブを閉めて、東海村指定給水装置工事事業者(村公式ホームページに掲載)に修理を依頼してください。修理にかかる費用は、個人負担となりますので、くれぐれも水道管の凍結にはご注意ください。

こんなときは凍結に注意！

氷点下の予報が出たとき

旅行などで長期間水道を使用しないとき



気温が低く風が強いとき

特に注意が必要なのは…

- ▽風当たりの強いところにある水道管やメーター
- ▽北向きで日陰にある水道管やメーター
- ▽むき出しになっている水道管
- ▽家の外にある蛇口

防災ラジオの貸し出しを再開します

村では、村内各家庭への防災ラジオの貸与について、製造メーカーが新型コロナウイルス感染症の影響を受け、同ラジオの生産に遅れが生じたことにより、9月から見合わせていましたが、在庫が確保できたため、12月から貸し出しを再開しています。防災ラジオの貸与を希望する方は、防災原子力安全課(役場行政棟5階)へお越しください。

【問い合わせ】防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(☎282-1711 内線1522)

防災ラジオ(戸別受信機)は、災害等に関する村民の皆さんへの緊急・重要な情報や、役場の業務等に関するお知らせをご家庭等で聞くための機器です。



▲防災ラジオ